

各 位

会社名 株式会社 ヤギ
 代表者名 代表取締役 八木隆夫
 社長執行役員
 (コード 7460 東証第2部)
 問合せ先 経営管理部長 平松 帝人
 (TEL 06-6266-7332)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月9日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 通期連結業績予想の修正について

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	70,000	2,200	2,400	1,560	187円91銭
今回公表予想 (B)	77,000	1,000	1,350	650	78円07銭
増減額 (B-A)	7,000	▲1,200	▲1,050	▲910	
増減率 (%)	10.0%	▲54.5%	▲43.8%	▲58.3%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	114,240	2,040	2,317	1,525	184円00銭

※当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

2. 修正の理由

緊急事態宣言が断続的に発令されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい経営環境が続いております。またアセアンにおけるロックダウン措置等に伴う生産工場の大幅な稼働率低下や、他地域への短納期での振替生産によるコストアップ、加えて原材料価格や物流経費の高騰、円安基調による原価の上昇など、これらの原価上昇要因を販売価格へ転嫁することが困難であり収益の悪化を招いております。また、コロナ関連商材の需要が大きく低下し、一部商材での利益確保も難しくなっております。

さらに上記の厳しい経営環境の中、一部の出資先においても事業計画の進捗が見られず早期回復の見込みが立たずと判断し、当第3四半期において投資有価証券評価損を計上することになりました。以上の状況を踏まえ、2022年3月期の通期連結業績予想を修正するものであります。

以上